

はねっと 2

仙台市市民活動サポートセンター通信 ばれっと

“ばれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

言語や宗教の壁を超えて おいしさ、魅力つなぎたい

Yuni Nurul Azzizah
ユニ・ヌルル・アジザさん

インドネシア人でイスラム教徒のユニさんは、仙台発のインターネットテレビ局^{アリ}ariTV株式会社の社員として働いています。Japan HalalTVという番組を通して世界中に発信しているのは、東北のグルメ、文化、名所など。特にハラールに対応した食べ物^{ハラール}の情報に力を入れています。ハラールとはイスラム教徒にとって許されている行為のこと。生活全般における指標として、許される行為とそうでない行為があり、たとえば豚肉やアルコールを口にできません。ユニさんが情報発信の必要性を強く感じるようになったのは、「何を食べたら良いかわからなくて怖いから」と、カバンいっぱいに食料をつめて日本を訪れるイスラム教徒の友人の姿。「一歩踏み出してみなければ出会えなかった魅力が、日本、東北にはたくさんある。食の不安を解消することで、外出先で行動をためらう要素を減らしたい」と話します。

10年以上仙台で暮らすユニさん。今でこそ日本語を話せますが、数年前までは食べ物について日本語で質問したり調べたりすることが困難でした。日本人が親切心から料理を勧めてくれても、使われている油や出汁を確認する必要がある、食べられないことも。家で作った料理をひとりで食べながら、「みんなと外食がしたい」「日本の料理を食べてみたい」と思い続けてきました。ariTVの社員として東北各地へ赴くようになってからは世界が広がり、石巻では初めて食べた生カキのおいしさに感動。ariTV



が行う行政や企業と連携したハラールメニュー開発事業では、ハラールに対応した笹かまぼこやラーメンの開発にも携わりました。東北の食をどんな人にも味わってもらうための挑戦を日本人と手を取り合いながら続けています。

ジャパン ハラール
Japan Halal TV

東北の魅力やハラールに関するお役立ち
情報を発信するインターネットテレビ番組。 HP▶



どんな人も一緒に食卓を囲めるお店

世界ゴハン

ハラールに対応した飲食店モデルをつくらうと、ariTV株式会社が2022年5月に開業。ヴィーガン(完全菜食主義)に対応したメニューもあり、インドネシア、タイ、韓国、日本などアジア各国の料理を美味しく体感できます。



◀左)ariTV株式会社
副社長の浜知美さん、
右)ユニさん(SNS等での
プロモーションを担当中!)

Instagram▼





市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

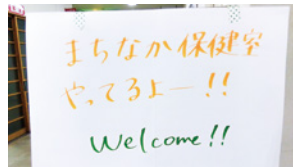
生きづらさを抱える女性に安心して過ごせる居場所を提供したい

人間関係がうまくいかない、他人の目が気になって息苦しい、自分の気持ちが分からないなど、生きづらいと感じながら日々を過ごしている人がいます。

Sendai_RIGHTSは、生きづらさを抱える女性の支援を目的に、共同代表の小川真美さんと佐久間博子さんを中心に、様々な年代のスタッフと2022年9月に活動を開始。現在の活動の中心は、若年女性を対象とした居場所「まちなか保健室」の開催です。10～20代では自分の生きづらさに気づかない人が多く、相談先や支援先を探す人はほとんどいません。「まちなか保健室」は、生きづらさに気づいていない人も気軽に立ち寄れるように、無料で事前申し込みは不要。ただそこに座っているだけでも良く、出入り自由です。毎月1回、学校や仕事帰りの時間帯である夕方から夜にかけて、仙台市内の公共施設やカフェなどが会場です。ヨガやトークなど、月替わりでさまざまなプログラムがありますが、参加するもしないも自由。自分の気持ちを尊重した時間を過ごすことができます。少しほっとできる社会の中の保健室のような居場所です。リピーター

になる人がいたり、要望から対象年齢を広げた月を設けたり、少しずつ変化も生まれています。

「生きづらさを抱えている人、生きづらさに気づいていない人はもっといはず。『まちなか保健室』に行ってみたいと思ってもらえるような発信を心がけている」と佐久間さん。どのように情報を届けるか、試みを続けています。



▲会場前の看板が目印です



▲数量限定の手作りお夕飯もあります

女性支援団体Sendai_RIGHTS

Mail sendai_rights@yahoo.co.jp

HP▶



活動現場から、「このたびカタチになりました」

自分なりのストレス対処法を学べるゲーム

若者の就労・就学支援を行う認定NPO法人Switchが開発したカードゲーム「ココロリーツナガール」の一般販売が行われています。自分に合ったストレス対処法やSOSの出し方への気づきを促し、若者の生きる力を育むことが目的のゲームで、2023年2月の完成以降、学校現場などで活用されてきました。遊び方の大まかな流れは、相手が出したストレスカードに対して、手持ちのストレス対処カードから効果的と思うカードを出していくというもの。自分が勧めた対処が相手に選ばれれば得点になります。ストレスカードには「勉強中、近くに大声で騒ぐ人がいる」「バスの本数が少ないのに1本乗り遅れた」など、高校生を中心に聞き取り集めた身近なエピソードが満載。対処カードを選んだ理由を共有すれば自分と違う考え方にも触れられます。



ココロリーツナガール

価格 3,500円(税込) / 別途送料520円 ※初回生産特別価格

開発・製作 認定NPO法人Switch ユースサポートカレッジ部門 TEL 022(253)7701 mail info@npo-switch.org

購入希望フォーム▶



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 2月14日(水)、28日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2024年2月1日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

